在シドニー総領事通信

第35回 ダーウィンと日本:歴史・ビジネス・安全保障の絆

令和3年(2021年)3月4日

ダーウィンでは、毎年2月19日にダーウィン空爆戦没者追悼式典が開催されています。本年は、山上信吾新駐豪大使が北部準州公式訪問として同式典に出席し、一連の会談・視察を行いました。私もこの機会に多くの行事に同行し、日本とダーウィン、そして北部準州の関係が更に進展していることを実感しました。

ダーウィンと日本は、歴史、ビジネス、安全保障の3点で深い関わりがあります。 今回の総領事通信では、これらの関わりをご紹介しながら、日本とダーウィン、 そして北部準州の将来について、皆様と一緒に考えていきたいと思います。



ダーウィン空爆戦没者追悼式典での献花 (2021年2月19日)

●歴史:和解から交流・協力へ

2月19日のダーウィン空爆戦没者追悼式典への出席と献花は、私には2回目です。昨年の総領事通信で、式典の背景と概要を報告させていただきました。

今回は山上大使に同行して、北部準州米豪友好協会主催の USS ピアリー号沈没追悼式典、そして北部準州豪日協会 (AJANT) が中心となり 2017 年に建立した伊124 号潜水艦慰霊碑でも献花し、哀悼の意をささげました。

今の日豪関係の発展と私たちが享受している平和と繁栄は、当時失われた尊い 人命の犠牲の上に成り立っていることを改めて感じました。



ダーウィン航空博物館に展示されているゼロ戦 (2021年2月17日)

今回は、昨年も訪れたダーウィン軍事博物館に加え、ダーウィン航空博物館を初めて視察しました。この博物館には、1942年2月19日のダーウィン空爆に参加し、攻撃を受けて不時着し捕虜となった豊島一氏が搭乗していたゼロ戦が展示されています。

豊島一氏はその後カウラ捕虜収容所に移送され、1944 年 8 月 5 日のカウラ脱走で突撃ラッパを吹いて自決することとなります。昨年訪れたカウラの日本人戦争墓地には、522 基の墓の中に、同氏の偽名(南忠男)の墓もありました。中野不二男氏のノンフィクション『カウラの突撃ラッパ:零戦パイロットはなぜ死んだか』(文春文庫)は、同氏の生涯をたどりながら当時の様子を描いています。



ダーウィン日本映画祭で北部準州豪日協会(AJANT)役員と (2021年2月19日)

戦後、1959 年から 61 年まで藤田サルベージという日本企業が沈没船の引き上げ・撤去を行いました。日豪の和解にも尽力し、1960 年のダーウィン連合教会の竣工の際に、沈没船の金属から作られた 77 本の十字架を同教会に寄付し、藤田社長の家族とダーウィン連合教会の交流は今も続いています。

本年2月26日にダーウィンで北部準州の日本語教師研修が開催された機会に、参加した日本語教師はダーウィン連合教会のローレン・メリット氏による特別セッションに出席し、次世代の生徒達に日豪の戦争と和解、交流と協力の歴史を教えるための準備を進めています。

今は、新たな世代の日本人と豪州人が日豪の友好と交流を担っています。北部準州豪日協会(AJANT)は、豪州政府の協力を得て、2017年に伊号第124潜水艦の慰霊碑を建立しました。翌2018年には安倍総理がガナー北部準州首席大臣とともにこの慰霊碑を訪問して献花を行っています。

今回、2月19日から20日にかけて、AJANTが国際交流基金との共催でダーウィン日本映画祭を開催し、私は開会挨拶を行いました。コロナ対策を取りながら4本の映画を上映して、数百人の観客が集まる大盛況でした。

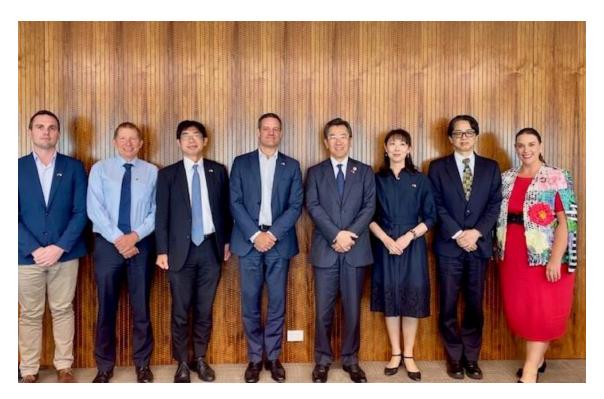


イクシス LNG 陸上プラントの中央制御室 (CCR) (2021 年 2 月 20 日)

●ビジネス:イクシスを基盤に更なる飛躍へ

今回、山上大使に同行して INPEX のイクシス LNG 陸上プラントを改めて視察しました。2018 年の操業開始から3年目に入り、コロナ下でも順調に稼働を継続していました。同プラントは日本の LNG 輸入量の約7%を担い、日本の北部準州からの輸入の95%以上を占めています。

プラントの中央制御室(CCR)では、日本人と豪州人の技術者が一体となって 24 時間のローテーション体制を組んでおり、日豪協力を体現するものと感じました。



北部準州政府ビジネス・ブリーフィング (2021 年 2 月 19 日)

これを基盤に、日本と北部準州の間では新たなビジネス協力が進んでいます。今回、山上大使や片山 JOGMEC (石油天然ガス・金属鉱物資源機構) シドニー事務所長とともに、北部準州政府関係者から天然ガス・水素・重要鉱物 (critical minerals) を中心に投資機会の説明を受け、シドニーでの日本企業向けセミナー開催を検討することになりました。

イクシスに続く様々な日豪連携事業が立ち上がり、日豪双方の経済発展と雇用 拡大に貢献するよう、当館としても最大限に努力していく所存です。



豪国防軍北方司令部訪問 (2021年2月20日)

●安全保障:インド洋と太平洋の結節点

近時、一層重要性を増しているのは安全保障における日豪協力です。我が国は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて取組を進めていますが、ダーウィンはまさに太平洋とインド洋の双方に面した要衝にあります。また、ダーウィンはオーストラリアにとってアジアと接する玄関口にあります。

ダーウィンの後背地には広大な演習場があり、米国海兵隊は毎年乾期にダーウィンにローテーション配置されている他、ダーウィンを拠点に様々な共同演習が行われ、自衛隊も参加しています。

今回、大使に同行してダーウィン所在の豪国防軍北方司令部(Northern Command) を訪問して説明を伺い、昨今の国際環境の下で、更なる協力の潜在性と重要性を強く感じました。



チャールズ・ダーウィン大学にて セナディル・エネルギー研究所長(向かって右)、 スルジャン人道緊急災害対策研究科長(向かって左)と (2021年2月17日)

●日本とダーウィン、そして北部準州の未来に向けて

以上のように、日本とダーウィン、更に北部準州は、歴史、ビジネス、安全保障の3つの面で深い関わりがあり、今も進展しています。そのいずれにおいても大事なことは、確固たる基盤を築いた先人達に感謝しつつ、未来に向けて新たな取組を一つ一つ積み上げていくことだと考えています。

昨年10月のダーウィン訪問の際には、チャールズ・ダーウィン大学のマードック学長と、エネルギー、熱帯医学や災害対策の分野で日本との関係を強化する可能性について話し合いました。今回はウィルソン学長代行(Interim Vice-Chancellor)にご挨拶し、セナディル・エネルギー資源研究所長、スルジャン人道緊急災害対策研究科長とお会いして、日本との関わりや最新の取組についてお話を伺いました。

今後も四半期に1回ダーウィンを訪問し、日豪双方の幅広い関係者の様々な取組を後押ししていく所存です。日本とダーウィンや北部準州との交流・協力についてご質問やご要望がありましたら、何時でもご連絡ください。

総領事通信・第3回 ダーウィンと日本(2019年11月29日)

https://www.sydney.au.emb-

japan. go. jp/itpr_ja/about_consul_generals_newsletter_archive_no3. html

総領事通信・第 10 回 ダーウィンと日本(その2): ダーウィン空爆からイクシス LNG プロジェクトへ(2020年3月6日)

https://www.sydney.au.emb-

japan.go.jp/itpr_ja/about_consul_generals_newsletter_archive_no10.html

総領事通信・第 16 回 アリススプリングスとウルル: 「コロナ後」に向けて(2020年5月29日)

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_16newsJ.pdf

総領事通信・第 27 回 北部準州と日本:ビジネスと交流の深化と拡大に向けて (2020 年 11 月 6 日)

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_27newsJ.pdf

ダーウィン航空博物館のゼロ戦展示 (英語)

https://www.darwinaviationmuseum.com.au/mitsubishi-zero-a6m2-model-21-bii-124-1942/

北部準州豪日協会(AJANT)

https://www.ajant.org/

INPEX イクシス LNG プロジェクト

https://www.inpex.co.jp/ichthys/

北部準州の投資機会(英語)

https://theterritory.com.au/invest

日豪防衛協力・交流(防衛省)

https://www.mod.go.jp/j/approach/exchange/area/pacific/pdf/australia_2
0201208.pdf

米軍戦力配備イニシアティブ (USFPI) (豪州国防省) (英語)

https://www.defence.gov.au/Initiatives/USFPI/

チャールズ・ダーウィン大学(英語)

https://www.cdu.edu.au/

チャールズ・ダーウィン大学エネルギー資源研究所(英語)

https://www.cdu.edu.au/engineering-it-environment/research/eri

(以上)